



Chitose Rotary Club

村田会長方針
“向上心・相互扶助・親睦”

会長 村田 研一 副会長 高橋 都 幹事 沼田 常好
会長エレクト 川端 清 会計 大澤 雅松
第2510地区ガバナー 細川 好弘 第7グループ・ガバナー補佐 佐々木 昭

ロータリー創立日 1905年2月23日
千歳RC創立日 1967年4月26日

～ 6月はロータリー親睦活動月間 ～

本日の例会（6月13日 第50回）夜間通常例会 年次報告

担当：三役

第49回（通算2273回）例会報告

日時：2013年6月6日 7:00～8:00

場所：千歳ロータリークラブ分収造林「ロータリーの森林（もり）」千歳市蘭越 恵庭事業区372林班

プログラム：早朝移動例会「分収造林」

担当：環境保全委員会

司会：SAA・プログラム委員会 委員長 大西信也

屋外例会のために「ロータリーソング斉唱」、「四つのテスト」、「友情の握手」「ニコニコBOX」「出席率の発表」は割愛しました。

会長挨拶（村田 研一 会長）



皆さんおはようございます。早朝から「分収造林」での例会にお集まりいただき、ありがとうございます。今朝は雨が降るとの予報でしたが、降らないのは会員皆さんの日頃の精進の賜であります。本日の例会では分収造林の

除・間伐後の整理を予定しておりましたが、急遽、変更しまして除・間伐の実態と分収造林の外周を見ていただくこととなりました。

今から21年前ですから1992年（平成4年）5月17日に赤エゾ松を7,300本植えました。昨年6月の例会時に樹高を計りましたら10mを超えておりましたので、今では11～12mほどまで成長しているものと思います。除・間伐と共に枝打ちによりこれまでと違い見通しがよく、素晴らしい美林に育っています。これも丹治秀一分収造林組合長はじめ、平間和弘環境保全委員長を中心に委員会メンバーが努力され、また毎年2回の早朝移動例会で会員皆さんの下草刈りや枝払い等の作業をしていただいた結果であります。

今朝はマイナスイオンを一杯吸っていただき、リフレッシュして明日からの活力につなげて欲しいと思います。

長い期間、分収造林の育林にご努力をいただきました分収造林組合長の丹治PCはじめ平間環境保全委員会委員長のお二人に皆さんと共に大きな拍手を贈りたいと思います。（拍手）

本来、ロータリークラブは単年度事業であります。会員皆さんには年2回、早朝例会で分収造林の育林に携わっていただきました。これからも数十年に亘って携わるものです。会員の皆さんも大変ご苦労様ですが、これからもよろしくお願ひします。

幹事報告（沼田 常好 幹事）



2点ほど申し上げます。

その一つは、第22回理事会を6月20日に予定しておりましたが、諸般の事情により18日（火）18時30分より「なごみ」において行います。三役、理事各位のご出席をお願いします。

その二つは、「2012～13年度委員会活動報告」を13日、夜間例会、20日通常例会において行います。発表順番についてはお知らせしておりますが、都合の悪い場合は、幹事までお知らせ下さい。また活動報告書を作成の上、発表の準備をお願いします。

委員会報告

◇次年度幹事 大澤雅松 副幹事



(1) 次年度の各委員会の活動計画書提出締切りが6月10日（月）となっております。まだ提出をしていない委員会の委員長には早急に作成の上、期日まで提出をお願いいたします。

(2) 次年度の理事会とクラブ協議会を6月20日の例会の前後に開催します。皆さんから提出されました次年度活動計画を確認したいと思います。

◇木曜会パークゴルフ会 藤本敏廣 幹事



木曜会の第1回パークゴルフ大会を6月13日（木）13時よりフジパークゴルフ場において行います。多くの会員皆さんのご参加をお待ちしています。



◇国際ロータリー千歳クラブ 分収造林組合 組合長 丹治秀一 PC

皆さんおはようございます。

環境保全委員会の平間和弘委員長は、長年、分収造林をこよなく愛して、このようにきれいな育林に育てていただきました。ありがとうございます。今朝は折角の機会がありますので、分収造林の経緯についてお話をさせていただきます。

戦後、森林が非常に荒れ果てました。（～以下、ホームページをご覧ください）

◇環境保全委員会 委員長 平間和弘



早朝よりお集まりをいただきありがとうございます。今日は、分収造林を植林して20年目の昨年秋に大規模な除・間伐、枝打ちを行い、素晴らしい美林となりました。このことは、千歳ロータリークラブ分収造林組合長 丹治秀一PCの絶大なご支援と本年度の村田会長、沼田幹事の配慮によるものであります。

昨年行いました除・間伐は、監督官庁の北海道森林管理局はじめ北海道石狩振興局林務課のご支援で「森林環境保全整備事業」による予算化と千歳市森林組合のご指導により実施したものです。(～以下および分収造林除間伐事業経過表【時系列】はホームページをご覧ください)

早朝移動例会「分収造林」の様

◆今年もクマ避けの鈴を！！

今年もクマ出没のニュースがありますが、この地域も例外ではありません。今回も上井昭一PCが大きな鈴を持って来ていただきました。例会中は鈴の音を発していますとクマの方でこの場所を避けて行動しますので、ご安心下さい。



◆1枚のビニール袋でも樹木の生育に悪影響が・・・



前回にもお話をしましたが、2002年(平成14年)10月、丹治組合長と私の二人で、試験木を2箇所にて設けました。同じ時に植えた木ですが木の根元にビニールで覆った状態にしたら経年でどのような結果が出るかを試すために実施しました。いわゆる無造作に捨てられるビニールなどが木の生育に与える影響をビニールで覆われない木と比較する調査をした結果、見て分かるように木の根元がビニールに覆われると成長が悪いことは一目瞭然です。10年でこれほど違うと言うことで、1枚のビニールが樹木の生育に与える影響は大きいものです。

山に入ったらゴミは捨てずに持ち帰りましょう。これが環境保全委員会としてのお願いです。

また、切り倒した木は年月と共に朽ち果てて土に戻ります。ビニール袋での試験木と同時に植林した赤エゾ松2本を切って朽ちる状態を観察して来ました。この2本の木は切り倒してから10



年経ちこのように朽ち果てますが、これが肥料になり、他の木の養分となって木は大きく成長するものです。

昨年、分収造林の赤エゾ松の高さは10m 80cmでしたが今年は12mを超えています。



(記録・写真：酒井宏会員)

次年度奉仕プロジェクト系合同委員会を開催

2013-2014年度(川端年度)の活動計画づくりに向けた奉仕プロジェクト系合同委員会が3日、バルクラシック・リアン千歳平安閣で開かれました。

会場に職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕・ローターアクト、環境保全、ロータリー財団・米山記念奨学の各委員会と三役合わせて18人が集まり、川端会長エレクトが次年度会長方針「いい仕事をしよう」について説明し、各委員会の計画づくりと実践に期待を込めてあいさつ。委員会ごとに次年度活動計画について協議しました。

委員会ごとの協議を経て、佐藤秀雄パストガバナーの音頭で乾杯し、リアンのおいしい料理を味わいながら交流。各委員長が次年度への決意や意気込みを語り、各委員会の委員でもあるパストガバナー、パスト会長から意見や要望、指摘などがありました。

締めくくりのあいさつで齊藤博徳副会長予定者が、ロータリークラブでの委員会活動の大切さを熱弁、大きな拍手を受けていました。



(記録・写真：大澤雅松会員)

出席率

今回：63.5% (6月6日=33/52、実数)

確定：92.3% (5月23日=48/52、うちMu10名)